

# 秋月中学校の生徒たちと一緒に朝倉のPR!

日本の学校というのは外国人にとって興味深いものです。制服を着た学生たちがきちんと整列している様子や、校庭の手入れをしたり掃除をしたりと自分たちの学校を綺麗に保っている様子は、日本経済の発展の背景にあるものとして多くの外国人が抱くイメージそのものです。

先日、秋月中学校で2つのワークショップを実施しました。私にとって、古い城跡に75年前に建てられた歴史ある日本の学校での活動はとても特別な体験となりました。1つ目のワークショップでは多文化理解というテーマの下、出身国や海外経験についてのプレゼンテーションを通して、生徒たちと多様性について考えました。もう1つのワークショップは学校や秋月に関する英語のSNS投稿を作るというもので、生徒たちが自分たちの視点で撮った写真を通して、より深く秋月中学校と秋月を知ることができました。



私は出身国チュニジアにいる時、5年程フランス語の教師として働いていました。秋月中学校の生徒たちは比較的小となしでしたが、とても集中力があり、こちらの質問にも的確に答えてくれました。チュニジアでは、生徒たちはたくさんの質問をすることが多いですが、思いっくまま適当に質問している場合もあります。人気のある科目は芸術系、スポーツ系、文系です。

日本では、問題を解決すること、効率的であること、そして、規則に従うことが重要なのだと個人的に理解していましたが、一人一人の生徒には異なる個性があることを知りました。今回の二つのワークショップを通して、日本の学校の違う側面を体験することができたと思います。素晴らしい写真を撮り、それに英語でキャプションを付けていく生徒たちはクリエイティブでしたし、彼らが様々な課外活動を行なっていることや、好きなスポーツや音楽について語る時はとても情熱的であることを知りました。ワークショップの最終日には生徒たちが熱心に学校の中を案内してくれたのですが、その際、みんなに海外における日本のイメージやチュニジアを始め多くの国で日本のアニメや漫画の人気の高いことを話すことができました。

ワークショップ後、参加した生徒たちから、「他者との出会いを通して世界の多様性だけではなく自分たちの文化の中にある多様性にも気づくことができると思う」というコメントをもらいました。